

道

この道はいつか来た道 ありあけ とうだよ

アカンアの花がさいてる

我正式にならうなうても 自然にうたえてい

まう いい時でありいいかた予めだ

最近 伊科へ行くのに丁氏に車イスを返し

てもうアアア梨の道へ行く

アアかしの道のほろどか ほとりて見ると

だ 駅が近くへ行く道と道がたかまははね

る 丁氏かたさよと君をかたかくたす

するとあぐ車イスがたしとる 私も車イ

スの中であたしとる 道への甲かたわつた

アかたと道を貫くと車道と歩道と知こすだ

うけだ あるのは車道から歩道へうつるすた

たなめになつていふ 私もななめなす

道の両りまは店がさわおしいかど並んでい

もうすかたはつ科だ

かえりア茶をのみたいなと思ふ

右左 キヨロくさかしてみても喫茶がある

い おしやれぬ かつエテるもすい

この道は何も茶をのむ所はなると
 歩きやう
 案に入るたりの細い道は「ヤリ」の
 道だ この道こそ我が糸のかまゝ
 長印な道だ
 六十年 この道と若に金証し
 来た
 この道少し出ると花火が
 見える
 イスをも歩出し「こゝ
 いろ番」に花火を見る
 うれいだ 遊館の人と
 ぶくと見ている
 今もきくと花出は
 身をも思うが その時
 帯に
 今正遊館の人へ 糸の
 と若に大空へ行く
 べし
 子へ

今花火の見える道は
 警備の人が「さ
 ち」は工
 事車いどと
 言っている
 不審なやむ
 ことが出来る道や
 花火の
 見える
 道は とう
 果てないか
 もとに
 いる

2019
3/19